



# 地本NEWS

2016年  
6月30日  
自治労北海道  
網走地方本部  
2016第15号

**期日前投票もできる。  
毎日が投票日！  
投票に行こう！**

## 組織集会開催

### ～当面する課題について意志統一～

地方本部は6月11日に、2016組織集会・第4回単組総支部代表者会議を開催し、2015秋期闘争の総括や2016春闘の中間総括、当面する闘争の確認を行いました。

武山地本委員長からの挨拶の後、来賓の労金北見支店佐々木支店長、全労済米山北見支所長の激励のあいさつを受けました。

道本部大出委員長は、「日ごろの仕事や生活と政治は切り離せない。我々の声を代弁してくれる者を国会に送らなければ、我々の手の届かないところで物事が決められてしまう。大企業を中心とした経済政策をはじめ、労働者のことを考えた政策は何一つ行われていない。7月の参議院選挙は本当に大事なたたかいになる。再度、取り組みの確認をお願いしたい」とのあいさつ。道本部提起、地本提起がありました。



分科会では、今後議論が進められる道本部組織強化計画の議論につなげられるよう、地本組織強化拡大方針第1次実践計画を見ながら、各単組の現状について討論を行いました。

分科会報告では、次代の担い手とされる青年部との関わり方の課題や要求から交渉につながっていない現状などが出されました。

### 全体討論から

▼田島さん（津別町職）地本労働者集会で社会経験採用者の学習会が実施された。多くの社会人経験採用者は労働運動を体験してきていないが、年齢的に組合員として、職員としても中核を担わなければならない。全道の状況や今後道本部としてはどのように取り組みを進めるのかをお聞きしたい。また、当局は技術系の職員で3級主任の者に議会対応させており、3級主査の発令を考えている。「等級別職務基準表」や「人事評価制度」と関係してくる部分もあるがどのような対応が必要か。

▼前田さん（北見市労連）今週、春闘が終了した。2月の賃金確定闘争以後、様々な合理化提案が出され、取り組みが遅れた。もともと、若年層の賃金が国公と比べて3号俸低く、従前から当局も認識をしていたが改善がされていなかった。今回、具体的な改善策を「年内には示したい」との回答を引き出せた。4月遡及を勝ち取りたいと考えている。

### 本部答弁

▼道本部 組織強化や社会経験者採用対策について、道本部としても問題意識を持ち、どのような取り組みがいいのか検討をしている。社会経験者の中には、距離を置きたがる人もおり、学習会などへの参加体制の確立についても検討が必要。道本部学校の位置づけで行うこと等も考えている。

▼地本 北見市労連の若年層の賃金回復について、数年前から課題であると認識している。改善の方向性を示めさせたことは取り組みの成果。「数年前から」と当局が認識していれば、そこまで遡及させたい。少なくとも今年の4月遡及は譲れない。津別町職の3級主任による議会対応について、内規などで対応職員を決めており、通常は管理職対応。3級主査については、現行では主査は4級となっているので、なぜ「3級主査？」という疑問が生じる。総括主査の提案とあわせて、その必要性や職責としてどのように考えているのかなど、当局に説明を求めていく必要がある。

### 全体集約(武山地本委員長)

社会経験者学習会の総括はこれからだが、参加者への周知を含め、来年度以降どのようにするか検討が必要。また、今回の組織集会は、単組総支部代表者会議を兼ねているからか、若年層の参加が少ない。次代の担い手を意識するのであれば、次年度以降は組織集会への若年層の参加も意識してほしい。

政治闘争については、「地方創生」を謳いながら、地方で知恵を出した事業が不採択となったり、目のことしか考えていない「臨時給付金」など、さまざまなことが我々に関係している。もっと怒りを持って本気で取り組まなければならない。



## 自治労野球大会

全道大会出場は、

網走市労連、大空町職、北見消防協

8月5日(金)から旭川市などで開催される「第50回全道自治体職員等野球選手権」の出場権をかけた地本大会が、18日(土)、19日(日)に清里町で開催され、8チームの熱戦が繰り広げました。激戦の結果、「網走市労連」と「大空町職」が全道大会の出場権を獲得しました。前年度全道大会準優勝の「北見消防協」と併せ3チームが全道大会に出場します。

### 全道大会にむけた意気込み

自慢である打線を生かした試合をして、ベテランと若手を融合させながら、頑張っていきたい。(網走市労連 青木主将)



網走市労連の皆さん



大空町職の皆さん

2013年以来の全道大会に出場することができ、うれしく思います。チーム一丸団結して、旭川での全道大会を頑張りたいと思います。(大空町職 一橋主将)

### 網走地本大会結果(6月18日、19日)

- Aブロック1回戦
  - 清里町職 0対8 美幌町職労
  - 興部町職 0対7 網走市労連
- Bブロック1回戦
  - 置戸町職労 2対7 北見市労連
  - 大空町職 4対0 佐呂間町職労
- Aブロック代表決定戦
  - 美幌町職労 0対1 網走市労連
- Bブロック代表決定戦
  - 北見市労連 4対11 大空町職

## 道本部学校参加報告

道本部では、人材・担い手育成などのため、2014年度から活動家養成講座を開催しています。

「自治労産別統一闘争の意義」「組合運営の基本」「公務員賃金制度の概要」などについて、演習を交えた講義形式の学習会です。

地本からは、2014年度2名、2015年度2名参加しており、今年度は、5月13日から15日までの3日間、札幌市で開催されました。

大竹亜沙美さん(津別町職)と黒澤正人さん(美幌町職労)の2名が参加しました。

▼大竹さん 地本青年部四役からの声かけが参加したきっかけだった。単組青年部書記長を担っているので、**青年部員に組合活動の理解を深めるよい機会になった。単組青年部員にも伝えたい。**講座で得た知識を、単組で活かせるように今後も活動したい。

▼黒澤さん 少し構えて参加しましたが、「産別統一闘争」や「賃金制度」についてわかりやすく説明いただき、グループワークでは他単組の状況がわかり、大変勉強になりました。学んだ賃金制度の事等を他の組合員へ説明できるようさらに勉強していこうと思います。

### 執行部のつらみ

2年前、私も道本部学校活動家養成講座に参加したことがある。昨年から2泊3日のようだが、私が参加した初年度は、土曜日の午後1時から午後5時に開催され(うしろ5週は毎週)、今考えると、毎週札幌に通うという体力的にハードなことをした記憶がある。

体力的には辛かったが、その反面得るものは非常に多かった学習会であった。

とりわけ、賃金のしくみを学習できたことは、非常に大きかった。当時単組の書記長の任務についていたが(今も一時的に・・・)、2014年勸の1号俸抑制議論や人事評価における賃金の反映議論など、1号俸が与える影響の大きさとその重みを色々な人に伝えることができたのも、活動家養成講座に参加したからである。

改めて、今求められることのひとつが、多く学び、気づき、それを実践することではないだろうか。(教宣担当 渡辺執行委員)

自治労網走地方本部は「第24回参議院議員選挙」において、全体で確認した推薦候補の完勝のため全力でたたかいます。